
「このゆびと一まれでの 就労の取組」

NPO法人このゆびと一まれ

はたらくわ サービス管理責任者

山口賢一

- 1 きっかけ（自己紹介）
- 2 はたらくわとは？
- 3 特徴（ビデオ上映）
- 4 就労事例
- 5 つながり
- 6 まとめ

「1. はたらくわのきっかけ」



このゆびで働いていた障害者を
助けたいという思い！

「2. はたらくわとは？」

(とやま地域共生型福祉推進特区により、
このゆびと一まれが2013年4月に開所)

100%施設外就労



「はたらくわ(定員20名)」

ここでは作業はしない!

職員が巡回指導



「富山型デイA」



「富山型デイB」



「富山型デイC」

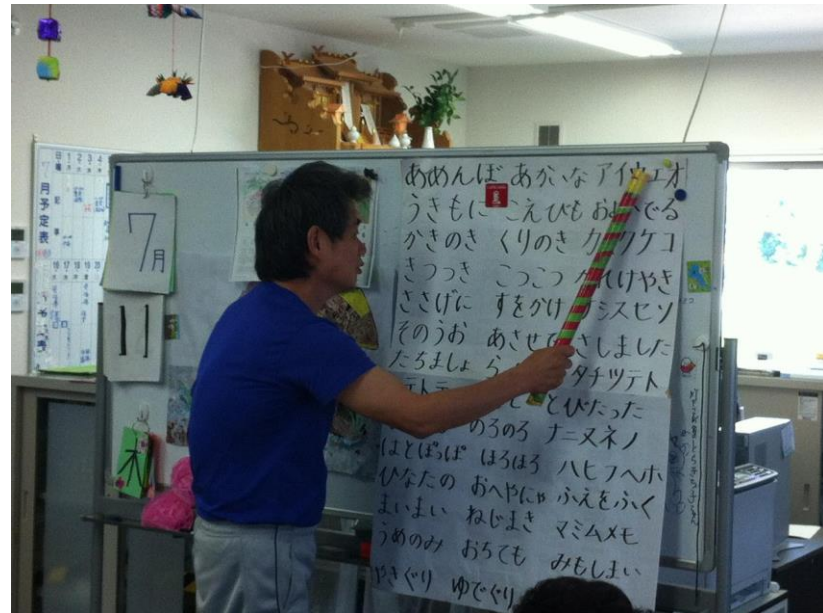
「3. 特徴」

1. はたらくわから協力事業所へ、利用者全員を派遣（施設外就労）している。
2. 協力事業所（現在、県下11事業所）へ、はたらくわの職員4名が巡回して指導している。（つきっきりではない）
3. 協力事業所は、富山型デイサービス限定。
（いずれは、ラーメン屋や花屋など、小さなお店にも）
4. 業務内容は、洗濯や掃除、食器洗いなど、日常生活の仕事が中心だが、中には介護補助をしている人もいる。
5. 2018年9月現在、利用者は25名。平均工賃は4万円。

「はたらくわ」

ビデオ上映(3分間)

「4. 就労事例」



(まわりの人達の声)

- ・「あの子、よく働いてくれるねえ。」(お年より)
- ・「スタッフの一人。」(子ども)
- ・「いてくれないと困る。」(派遣先職員)

- ・「挨拶をしない。口が悪い。」(お年より)
- ・「遊んでくれない。怖い。」(子ども)
- ・「すぐ、さぼる。休む。」(派遣先職員)

「すべて、ひっくるめて仲間！」

「5. メンバー同士のつながり」



- ・交流会（年2回）
- ・勉強会（年1回）
- ・他イベントに参加



「6. まとめ」

人にはそれぞれ個性がある。
障害もひとつの個性と考えて、
その個性に合わせたやり方で、
生活しやすい環境を作っていけば、
障害のある方だけでなく、
皆が、いごごちのよい社会になるはず

ご清聴ありがとうございました。

このゆびと一まれのHP
http://www.geocities.jp/kono_yubi/
